

平成29年度事業計画

1 事業趣旨

青森県担い手育成総合支援協議会は、農業就業人口の減少や農産物の厳しい販売環境においても効率的かつ安定的な農業経営を実践し、本県農業を支える担い手の育成・確保を図るため、耕作放棄地再生利用交付金、収入減少影響緩和対策交付金、さらには農地中間管理事業などを積極的に活用しながら、関係機関・団体が緊密な連携の下、地域の実態に即した担い手の育成を推進していく。

2 事業計画

(1) 担い手育成総合支援協議会実務担当者会議

担い手育成・確保活動等の効果的な実施に向けた検討を行う。
(平成29年7月、平成30年3月)

(2) 担い手育成・確保活動

ア 経営改善・能力向上のための研修

簿記・青色申告普及指導(平成29年4月～30年3月)
第24回青森県農業簿記講座(平成29年11月～12月)
地区別経営指導研修会(平成29年12月)
経営管理講座「税制セミナー」(平成29年12月)

イ 担い手交流活動

平成29年度認定農業者組織等交流研究会(平成29年6月)
第43回青森県農業経営者研究集会(平成30年2月)
第20回全国農業担い手サミットin高知の広報活動(平成29年11月)

ウ 集落営農ネットワーク協議会の活動支援

課題解決研修(平成29年6月、9月)
先進事例視察研修(平成29年8月)

エ 農業経営の法人化の推進活動

農業経営法人化推進連絡会議(平成29年6月、30年1月)
法人化推進セミナー(平成29年9月)
法人設立支援講座(平成29年12月～30年1月)
税理士等専門家の派遣(平成29年7月～30年3月)

(3) 収入減少影響緩和対策交付金に係る積立金管理業務

水田経営所得安定対策の収入減少影響緩和対策交付金(ナラシ対策)に係る積立金管理者の指定のもとに、農政局との管理業務委託契約を締結し、加入者の積立金の管理を実施する。

【H29年度期首積立状況】

加入件数	積立金額
5,325件	946,711,488円

(4) 耕作放棄地対策業務

「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」(以下、旧交付金。)を活用した障害物除去や伐根などの復旧、土壌改良及び営農定着活動等、耕作放棄地の再生利用に向けた取組への支援に係る事務を行う。

耕作放棄地対策について、国では、29年度から、旧交付金と同様の取組ができ、行政ルートで交付金を交付する「荒廃農地等利活用促進交付金」(以下、新交付金。)を新たに創設することとしている。

本県では、協議会ルートで交付金を交付する旧交付金の基金を29年度中に活用してしまうことを条件に、新交付金を活用することとしており、29年度中に旧交付金の活用を終了する。

【平成29年度計画】

市町村名	再生面積(a)	事業費(千円)
弘前市	331	2,813
鱒ヶ沢町	434	6,731
東北町	90	1,410
計	855	10,954